

<b>キリストのもとに一つ エペソ 1:3-14</b>	2024. 7. 7 中央 NO. 729 春日部福音自由教会 山田豊
------------------------------	--

本日の聖書箇所、エペソ 1:3-14 は、ギリシャ語本文では一つの文章です。翻訳された聖書には、点、丸があって息継ぎをして読むのですが、執筆されたときの様子を思うと、パウロが自分の持っている思いを一気に吐き出したような感じになっています。聖書の書簡は、発信人の思いをできるだけ汲むような読み方をしたいと思います。

教会と訳されている聖書の言葉は、ギリシャ語でエクレスシアです。集会と訳される言葉ですが、聖書でエクレスシアが使われている場合は、教会と訳されます。神に選ばれ、召し出されたものの集まり、という意味があります。

3-6 節には、壮大なスケールで、神の選びが書かれています。天地創造の前から、私たち一人一人を愛して選んでくださっていた、というのです。これはもう人間の想像を超えています。これは、私たちの側に優れたものがあつたからではありません。ただ神のあわれみによる選びであり、最後の晩餐の席ですでにイエスが語られたことでもありました(ヨハネ 15:16)。このような教会は、使徒信条では「公同の教会」という言葉で表され、一般には「目に見えない教会」と言われます。宇宙的な規模を持つ、一つの教会です。

これに対して、目に見える教会が、キリスト教 2000 年という歴史と時代の中で、全世界に建てられてきました。そして今もなお、建てられ続けています。これは「地方教会」と言われます。こちらの方は、〇〇教団、〇〇教派などとグループであったり、どこにも属さない教会もあります。政治的な理由で、地下に潜るようにして集っている教会もあれば、戦禍のために礼拝堂を失っている教会もあり、実に様々です。

この、一つでありながら多様な教会をあらわすのに、パウロは、からだと建物を用いています。エペソ 1:22-23 には、教会はキリストのからだであり、キリストご自身はその頭であると、明確に書かれています。からだの各器官が補い合つてからだの健康を保つように、教会に集う一人一人互いに仕え合つて、教会の営みを行うのです。もう一つは、建物です。しっかりとした土台の上に、建築資材がきちんと組み合わされて建物ができるように、教会はイエスキリストを礎石として、信徒の交わりが立ち上げられて、教会は成り立っていくのです。

キリストのもと一つに集められていることを自覚して、教会に集うことを続けてまいりましょう。

引用聖句

エペソ 2:8-10 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。10 実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。

使徒 4:13 彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であるのを知って驚いた。また、二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。

ローマ 4:16 そのようなわけで、すべては信仰によるのです。それは、事が恵みによるようになるためです。こうして、約束がすべての子孫に、すなわち、律法を持つ人々だけでなく、アブラハムの信仰に倣う人々にも保証されるのです。アブラハムは、私たちすべての者の父です。

エペソ 1:22-23 また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。23 教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです。

2 コリント 11:30 もし誇る必要があるなら、私は自分の弱さのことを誇ります。

1 ペテロ 4:7-11 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。9 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。11 語るのであれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

エペソ 2:20-22 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。21 このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。22 あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

ヘブル 10:24-25 また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。25 ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合ひましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

### 旧カトリック清水教会

太平洋戦争の中で静岡が受けた大空襲。

清水のまちは焼け野原となり、多くの命が失われました。激しい戦禍の中を生き延びた建物のひとつが、二つの尖塔を持つカトリック清水教会の聖堂です。驚くべきことに、西洋で確立されたゴシック様式が木造の建築技術によって再現されているのです。

この美しい聖堂が建築されたのは1935（昭和10）年。カトリックの普及のために私財を投じ、並々ならぬ思いでこの教会を建てたドラエ神父は、太平洋戦争中も日本に留まる道を選びました。火災から教会を守り抜き、負傷した市民を受け入れ、自らも必死に救護にあたったと伝えられています。およそ90年の歳月を経た今も、そのままの姿で私たちの目の前に存在する奇跡、大工をはじめとした職人たちの挑戦も、幸せを願って祈りを捧げた人たちの想いも、この聖堂が記憶しています。

大切なものは、失われてから気づくもの。今、この価値を失うわけにはいきません。2023年末から取り壊されてしまう聖堂を未来に遺していくために、私たちが選択したのは移築という再生の道です。幾多の試練を乗り越えた聖堂はきっと、このまちに豊かな未来を連れてきてくれると信じて。

聖堂が見守る美しいまちを、一緒に築いていきませんか。

（「旧カトリック清水教会聖堂の木造ゴシック建築を活かす会」HPより）

会堂内部→[カトリック清水教会～聖堂の中へ～ \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)

解体作業→[聖堂の解体進捗状況 - arigatou-seidou ページ! \(cath-shimizu.com\)](https://www.arigatou-seidou.com/...)